

まごころのおくりもの 4月分

金銭の部（一般分）

日本郵政グループ労働組合
南予支部 様 宇和島市

（指定分）

《喜多地区社協へ》
東 キリ卫 様 田 口

《平地区社協へ》
津國 巳代子 様 新谷町

《柳沢地区社協へ》
森岡 恵一 様 藤 縄

《新谷地区社協へ》
津國 巳代子 様 新谷町

《上須戒地区社協へ》
水本 福泉 様 上須戒

松岡 広明 様 上須戒

《肱川地区社協へ》
三瀬 健一 様 肱川町

《河辺地区社協へ》
富永 正明 様 植 松

《特別養護老人ホーム
かわかみ荘様へ》

草莽の一蛸 様 大洲市

あたたかい善意をありがとうございました。感謝をこめて掲載させていただきます。

皆様からいただきました芳志につきましては、地区社会福祉協議会、市社会福祉協議会、その他用途についてご指定いただけます。各地区社協や市社協等において、高齢者や障がい者等の在宅福祉、ボランティア活動など社会福祉活動の財源として、活用させていただいております。



この度、愛媛県社会福祉協議会（以下、「県社協」との協定に基づき、四国ブロック社協では、熊本県嘉島町社会福祉協議会の災害ボランティアセンターの運営支援に当たりました。社協では、平常時からの生活支援活動や要援護者ニーズの把握、ボランティア・コーディネート業務に関する経験等があることを踏まえて、有事の際には、災害ボランティアセンターの運営を行うことが期待されています。



去る平成28年4月14日、16日と過去に例を見ない震度7の地震に2度見舞われた熊本地震により嘉島町社協においても、5月1日から災害ボランティアセンターを立ち上げ被災者の支援に当たられていました。

資機材の貸し出し風景



今回、四国ブロック第アクルの派遣ということで、センターの運営支援として、ボランティア参加者に対するオリエンテーション及びニーズに対するマッチング（コーディネート）、などを中心に従事しました。

嘉島町内では、最大で震度6強を記録し、人的被害として死者3名。物的被害として、全壊175棟、大規模半壊31棟、半壊94棟（5月1日時点）と大きな被害に遭われています。嘉島町社協では、平常時から要援護者情報の把握に努めておられ、センターでも要援護者（世帯）に対する支援を中心に、がれきの撤去などの業務に当たられていました。今回の運営支援を通じて、近い将来発生が予想されている南海トラフ地震に備えて、本会としても災害ボランティアでの被災者支援などのあり方や備えについて、検討していく必要を強く感じました。



建設中の仮設住宅

ボランティアセンターでの団体ボランティアに対するニーズの説明



地震によって被害を受けた家屋・電柱

も早い生活再建・復興を願っております。

熊本地震に伴う 嘉島町災害ボランティアセンター
ブロック派遣（報告） 至平成28・5・16～5・21
地域福祉係 黒江 雄一